



紫式部は、中宮藤原彰子に仕えた女房でした。華やかな社交界のまっただ中であつて、周囲に溶け込めない違和感・孤独感を彼女は抱き続けていました。その実相と意味をまず考えます。そして紫式部が残した源氏物語が何を描いているのか、なぜ千年にわたって読み続けられてきたのかを読み解きます。

紫式部お話会

～紫式部の宮仕えと源氏物語が描いたもの～

2024年 3月 27日(水) 13:30 ～ 15:00

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル 7階 市民交流スペース

対象 どなたでも

定員 先着 30人

費用 お話会のみ参加 無料

お話会とお茶・お菓子 500円

(お話会終了後、お茶とお菓子をご用意)

2008年の源氏物語千年紀に、武生市(現越前市)の依頼で福嶋さんが図案提案し京焼の蔭山陽一郎(良斎)さんの絵付けで完成した五十四帖茶碗をご用意いたします。

申込 申込みフォームまたは電話より

(申込開始 3月10日(日)10:00～)

右記コードより
必要事項を入力の上
お申込みください。



講師 福嶋 昭治さん

1948年生まれ。園田学園女子大学名誉教授。平安時代文学、とりわけ源氏物語と枕草子を専攻。また、藤原道長の日記『御堂関白記』の注釈研究も継続。朝日カルチャーセンター、NHK文化センターなどで、源氏物語や枕草子・伊勢物語など市民対象の古典講読講座を担当。著書:『[源氏物語]カルチャー講座』(扶桑社)、『源氏物語 紫式部と武生』(福井新聞PRセンター)

きゃぱす

茨木市市民活動センター

(指定管理者: いばらき市民活動推進ネット)

茨木市駅前三丁目 9-45

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル 7階

受付: 9:00～21:30

休所日: 第2・4月曜日、年末年始(12/29～1/3)

TEL: 072-623-8820



きゃぱす HP

おにクル